

第2回学校評議員会 会議録

日時 令和3年2月24日(水) 17:25～18:53

場所 本校 会議室

出席者 学校評議員5名、校長、副校長、事務長、総務主任、教務主任、生徒指導主事(代)、保健主事、進路指導主事、記録2名

1 開会のことば(事務長)

2 校長あいさつ

- ・学校と学校評議員はパートナーと考えている。町内小中学校は学校運営協議会組織をとっており、ベストパートナーであるとする。山田高校も近い将来取り入れる予定である。共同経営者としての立場からご意見ご要望を伺いたい。

3 学校概況説明について(学校長)

4 各課概況説明について(各課主任)

5 学校評価アンケート結果について(副校長)

6 質疑・助言等

(大手評議員)

- ・学校評価について。コロナ禍で各種行事のパーセンテージが低いのは仕方のないことと考える。保護者からのコメント欄でいろいろな考えがあるのだと気になった。

(副校長)

- ・今年から回答をスマホやパソコンからできるように変更した。紙での回答だともっと生の声があったかもしれない。各意見を真摯に受け止めていきたい。

(上澤評議員)

- ・資料から学業もスポーツも励んでいる様子がみてとれた。山田高校から一人もコロナ感染者がでていないのは立派なことだと思う。事務から光熱費がオーバーしていると報告があったが、命を守る上ではやむを得ないものとする。
- ・動きがとれない中ボート部の成績は素晴らしいものがある。バスケ部も7人で県新人戦ベスト4とテレビで見てすごいと思った。明るい話題でうれしかった。先生方の指導の成果だと思う。
- ・進路決定も100%達成で素晴らしい。追跡調査をやっているのか質問したい。

(進路指導主事)

- ・本校ではやっていない。卒業後学校に来た生徒から情報を聞くくらいである。

(上澤評議員)

- ・1年位でもよいので追跡調査をやっただけであれば同窓会としてもありがたい。
- ・学校評価では家庭学習の時間が少ないのが気になった。高校時代は1番勉強する時期と思う。親子で勉強する雰囲気づくりも必要と思う。
- ・報道では学校の統廃合が気になるところである。町に高校がなくなるのはダメージが大きい。

(中村評議員)

- ・コロナでいろいろと中止になったようだ。方法を探りながら形をかえてもやれるものやってほしい。山田町内ではコロナ感染者はでていないが高校で感染者が出た場合のフォローはどのようにしているのか。

(校長)

- ・県の基準で動くことになっている。生徒には紙面で配布済である。

(花坂評議員)

- ・定員減となったようだが1年生のクラス編成について教えてほしい。

(校長)

- ・基準は1クラスだが運用で今年度は2クラスにしている。

(花坂評議員)

- ・次年度の見通しを教えてほしい。

(校長)

- ・人事異動の関係もあり、未定である。



(花坂評議員)

- ・学校評議員になったのでこの1年いろいろ気にかけていた。部活動はじめ新聞でいろいろ記事にとりあげられていた。他の高校より頻繁にとりあげられ県内にPRできていると考える。生徒達が町で取材活動をしているようで頼もしいと思っている。学びが進路につながり山田町の発展につながってほしいと願っている。役場職員として活躍してほしい。
- ・管内就職が多いのは喜ばしいことと考える。
- ・学校評価で前年比で9割近くマイナスになっている項目がある(p2-4)。要因は何か。

(校長)

- ・隔年現象がおきている。各課の反省をふまえて改善していきたいと考えている。

(佐々木評議員)

- ・丁寧な資料と説明に感謝している。
- ・学校行事や部活動で生徒達が頑張っている=先生方も頑張っていると考える。
- ・教育活動とコロナに感染させないことは両極である。中学校側も1年間葛藤しながら学校行事を行った。感染者がでなかったのは運がよかったからと思っている。高校の海の運動会に中学生を見学に行かせたが面白かったようである。中学校から高校に送り出すのが責務と考える。
- ・学校評価は資料2(学校生活の充実)と4(話を親身に聞いてくれるか)で集約されると思う。自己有用感があがる指導を中学校でもやる必要があると認識した。
- ・中学3年生全員と面談したが将来町内で生活したい生徒は80名いた。そのうちの20名は絶対戻って来て人の役に立つ仕事がしたいと話した。地域の復興教育の賜と思う。地域を愛する子どもを育てることが大切である。入りたいと思われるような高校にしていきたい。
- ・中高の先生で意見交換できる場や生徒同士で連携できる場を設けたい。

(花坂評議員)

- ・学校評価の家庭学習時間について。今年の2・3年生は今年の1・2年だと思いが経年分析はできているか。

(教務主任)

- ・2年生は進路別のコースの授業になった。進路意識が高い者が家庭学習時間が増えたのとらえている。3年生は進路活動が目前となり学習時間につながったのとらえている。進路意識の高い生徒は学校を休まなくなる。今年は特に1年間無欠席の生徒が多い。ただし与えられた課題しかやらない傾向がある。

(花坂評議員)

- ・きめこまやかな対応をお願いしたい。

(校長)

- ・学校評価で板書を書くことや3分前着席、課題提出は割合が高い。過日の反省会議で課題の出し方についての工夫を先生方をお願いしたところである。

7 退任学校評議員あいさつ

(大手評議員)

- ・母校のすばらしさを実感しているところである。様々な視点からの意見が多く勉強になった。
- ・バスケット部の県新人戦ベスト4は強豪校を破った成果であるので大変すばらしい。高校総体等期待している。
- ・山田高校のますますの発展を祈念している。

8 校長謝辞

- ・遅い時間帯の中での協議に感謝申し上げる。
- ・学校評価は生徒・保護者・教職員の自己評価、学校関係者評価、第三者評価に分かれる。今回は学校関係者評価としてとらえる。県への報告の後ホームページ等で報告する予定である。
- ・今年度は不登校者はなく、生徒の在籍も2名増えた。先日の会議で全員の卒業、進級が決定。
- ・大手評議員には3年間学校評議員をしていただき感謝している。他の方は継続でお願いしたい。
- ・学校存続について。26日に山田町と連携協定を結ぶ予定になっている。町と連携しながら教育活動を進めていく。

9 閉会のことば(事務長)